

R4.3月～6月 説明会に寄せられたご意見、ご質問などに対する回答

日時	会場	対象自治会
3月21日(月) 10:00～	サン・アルプス大町	
3月21日(月) 14:00～	サン・アルプス大町	
4月21日(木) 18:30～	常盤公民館	上一、上一団地
4月26日(火) 18:30～	大原町公民館	大原町、大原2号団地
4月27日(水) 18:30～	常盤公民館	泉、松原団地
5月9日(月) 18:30～	大町市役所	大新田町、西若宮町、桜田町、高根町
5月13日(金) 18:30～	大町市役所	北原町、宮田町、中原町、栄町、若原町
6月10日(金) 18:30～	平公民館	野口、花見、秋葉林
6月14日(火) 18:30～	平公民館	西原、借馬、新郷、二ツ屋
6月17日(金) 18:30～	平公民館	仁科郷、木崎、白樺、塩ノ原、外堀、山崎、森

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
1	事業計画等について	盛土道路による環境の変化(風が吹かなくなる等)により作物への影響はどの程度生じるのか。	風の変化による農作物への影響を評価することは難しいと考えています。
2	事業計画等について	高架橋等の検討はされているか。	詳細な道路構造については、最適ルート帯の選定以降に検討してまいります。
3	事業計画等について	松糸道路を建設してもあまり効果が得られない。既存道路がスムーズに通行できるようにすることが最良の策と考える。貴重な田畑、環境、歴史資産等を守ることの方がはるかに良いと考える。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地帯であり、高速道路へのアクセス性が低いことが企業誘致や観光誘客、重篤患者の救急搬送の上で課題となっています。大町市街地が松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展が期待できることや観光の活性化も期待されています。
4	事業計画等について	道路は有料となるか、SA,PA設置の計画はあるのか。	大町市街地区間は現時点では有料道路とする予定はなく、SA,PAの設置も予定していませんが、地域活性化につながる道の駅等につきましては、大町市と連携してIC周辺への設置を検討してまいります。
5	事業計画等について	維持管理がきちんと行われる保証があるか、維持管理費が住民の負担とならないか。	最適ルート帯の選定以降、具体的な維持管理手法を含めて検討してまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
6	事業計画等について	この地域における高速交通網整備の遅れに失望している。大町だけでなく白馬・小谷と松本地域とを結ぶ命の道としても重要な道路である。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地帯であり、高速道路へのアクセス性が低いことが企業誘致や観光誘客、重篤患者の救急搬送の上で課題となっています。大町市街地が松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展が期待できることや観光の活性化も期待されています。
7	事業計画等について	市街地区間でのメリット、デメリットを示してほしい。	現在、検討中の評価項目により、各ルート帯のメリット・デメリットをお示しする予定です。
8	事業計画等について	木崎湖以北は必要と思うが、大町市街地区間に松糸道路は不要。メリットが感じられない。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地帯であり、高速道路へのアクセス性が低いことが企業誘致や観光誘客、重篤患者の救急搬送の上で課題となっています。大町市街地が松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展が期待できることや観光の活性化も期待されています。
9	事業計画等について	他地域で成功している山歩きのルート、車両乗り入れ禁止の遊歩道など、もっと最先端のイメージを持って進めてほしい。高規格道路自体が昭和で終わっている感性としか思えない。	松糸道路ができることによって、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展、観光の活性化などが期待されるため必要と考えています。
10	事業計画等について	現道のオリンピック道路を改良すれば速度を保った松糸道路ができるのではないか。	大町市街地区間の現道は、信号交差点や沿道からのアクセスなどによるサービス速度の確保に課題があり、松糸道路の目的を達成することができないと判断しています。この解決策としてバイパス案を提案しています。
11	事業計画等について	建設促進ありきで話を進めないでほしい。	大町市とも連携し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
12	事業計画等について	木崎湖以北の道路について「現在ある道路を大切に使う」との説明があったが、大町市街地区間の既存道路はなぜ利用できないのか。時代は変化していて今あるものを大切に使う時代である。	大町市街地区間の現道は、信号交差点や沿道からのアクセスなどによるサービス速度の確保に課題があり、松糸道路の目的を達成することができないと判断しています。この解決策としてバイパス案を提案しています。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
13	事業計画等について	幅の広いルート帯の事業費について、各ルート帯によって事業費にかなり開きがあるのはなぜか。	想定される道路築造に係る土工量、現道交差部の数、橋梁数や用地補償費等が各ルート帯により違いがあるため、事業費に開きがあります。
14	事業計画等について	景観も大事だが、高速道路でさえ逆走がある。安全性を重視した道路にしてほしい。	最適ルート帯の選定以降、安全対策等も含め今後検討してまいります。
15	事業計画等について	道路幅員の広い道路を作ってほしい。	車道幅3.25mの2車線道路として大型車通行も十分可能な幅員としています。また、冬期においては堆雪も考慮し、走行性が保たれるよう片側の路肩幅員1.5mを確保し、道路幅員9.5m程度を予定しています。
16	事業計画等について	既存道路との交差点はすべて使えるように立体交差にしてほしい。	交差する道路は機能補償を行いますが、詳細な道路構造については、最適ルート帯の選定以降、説明会等によりご意見を頂きながら検討してまいります。
17	事業計画等について	地下トンネルなら農地がつぶれず、盛土による地域分断もないのでメリットが多い。	災害に強い道路として、大雨でも浸水しないような構造を考えています。また、地下トンネルは地下水など周辺環境への影響が大きくなり、事業費が大幅に増えることが想定されるため検討していません。
18	事業計画等について	松糸道路ができれば交通の流れが変わり既設道路沿いは昔の農業しやすい環境に戻る。インター付近に直売所等を設ければ農家にとってもチャンスが生まれるので商業、JA等と連携して進めてほしい。	大町市とも連携し、地域の魅力度向上が期待される地域を育む道として取り組んでまいります。
19	事業計画等について	市として、土地の利用計画(農業耕地・宅地等)の策定をしてはどうか。	大町市としましては、庁内の関係部局と連携し、土地の実態を把握するとともに、土地利用について地区の合意形成等の条件が整えば土地の利用計画(農業耕地・宅地等)の策定も可能かと考えます。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
20	事業計画等について	用地確保後の残地を含めた、小規模でも可能な農地の基盤整備事業ができないか。用地買収により農地の不整形地が生じる場合には再整備してほしい。	最適ルート帯の選定以降、具体的な道路設計において農地への影響を低減する工夫や、営農の継続や代替地などについて、大町市とも連携を図りながら、地権者への丁寧な対応を行ってまいります。
21	事業計画等について	静かで景色が良いためにこの土地を選んで住んでいる。松糸道路ができると暮らしが悪くなり場合によっては引っ越ししないといけなくなる。地区の人口が減って自治会存続ができなくなる。計画ルートを変更してほしい。	幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の細いルート帯を3案示し検討を行っているところであり、大町市とも連携を図りながら、地域コミュニティが維持できるよう検討してまいります。
22	事業計画等について	自宅の前に盛土ができると哀しい。	詳細なルートや道路構造については、最適ルート帯の選定以降、説明会等によりご意見を頂きながら検討してまいります。
23	事業計画等について	現道を安全・安心に整備して欲しい。現道を活用して右折レーンを作ったり一方通行とすればスムーズに交通が流れるのではないか。	大町市街地区間の現道は、信号交差点や沿道からのアクセスなどによるサービス速度の確保に課題があり、松糸道路の目的を達成することができないと判断しています。この解決策としてバイパス案を提案しています。
24	事業計画等について	インターチェンジは扇沢大町線の東か西か、どちらにできるのか。	松糸道路は立体交差により県道の上を通過することとなり、県道の両方向から出入り可能な形状にしたいと考えております。
25	事業計画等について	大北地域に高速道路がないというが、高規格道路は必要ない。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地帯であり、高速道路へのアクセス性が低いことが企業誘致や観光誘客、重篤患者の救急搬送の上で課題となっています。大町市街地が松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展が期待できることや観光の活性化も期待されています。
26	事業計画等について	企業や移住者、農業等について、大町市に関係する人たちや外部の人からこの松糸道路の事業に対するの期待や関心を持った問い合わせ等はあるのか。近隣県や首都圏の関心を持った人たちに対しても情報を提供して松糸道路を具体的にアピールしてほしい。	一部でそのようなご意見もいただいております。大町市とも連携して松糸道路の計画についてしっかり情報発信し、道路を利用して大町市を発展させるにはどうしたら良いかということも取り組んでまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
27	事業計画等について	3つのルート帯それぞれのメリット、デメリットを説明してほしい。	現在、検討中の評価項目により、各ルート帯のメリット・デメリットをお示しする予定です。
28	事業計画等について	現道(オリンピック道路)を大改良すれば盛土で道路を造らなくてもよいのではないかと。	大町市街地区間の現道は、信号交差点や沿道からのアクセスなどによるサービス速度の確保に課題があり、松糸道路の目的を達成することができないと判断しています。この解決策としてバイパス案を提案しています。
29	事業計画等について	松糸道路の全線に対する計画が示されていない。	全体計画の整備方針は平成20年度にお示しています。
30	事業計画等について	盛土にすると浸水対策になるというが、盛土の上流側の地域は一体が浸水してしまうのではないかと。今まで浸水していなかった地域も盛土によって水が流れなくなって浸水してしまわないかと。	松糸道路は盛土構造のほか、橋梁やボックス構造等による立体交差となり、水が流れなくなることはないと考えています。
31	事業計画等について	現道活用区間は白馬、小谷も含めて、他に道路がない箇所が多い。大町市街地区間も現道活用すればよいのではないかと。	大町市街地区間の現道は、信号交差点や沿道からのアクセスなどによるサービス速度の確保に課題があり、松糸道路の目的を達成することができないと判断しています。この解決策としてバイパス案を提案しています。
32	事業の進め方について	丁寧な説明と広報を求められているが、説明会の回数はさほど増えていない。告知も少なく分かりづらい。新しい内容が分かるたびに説明会を開催してほしい。農業や観光団体、若者、女性への説明会をしてほしい。	ご意見を踏まえ、全体説明会後に各地区の説明会を開催しました。引き続き、周知方法も工夫し丁寧な説明に努めてまいります。
33	事業の進め方について	どのルートとしても賛否両論あるので早期にルート決定をしてほしい。	丁寧な説明と意見交換を行いながら、できる限り早期にルートが決定できるよう努めてまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
34	事業の進め方について	本当はやめてほしいが、やるなら県、市のことを考えて進めてほしい。	災害に強い道路や地域活性化等、道路計画の目標を実現できるよう、大町市とも連携して計画してまいります。
35	事業の進め方について	まちづくりの観点から松系の計画の合意形成は大町市に任せてはどうか。もっと市民に正確な情報を公開し議論を盛んにすべき。	大町市と連携を図りながら進めてまいります。
36	事業の進め方について	市民との合意形成を図るため、双方向コミュニケーションとしてワークショップ形式の懇談会を取り入れてはどうか。	コミュニケーションプロセスを重視して、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めているところです。引き続き大町市と連携し、市民の皆様との合意形成を図ってまいります。
37	事業の進め方について	県や市は地域で親しんでいる公園について把握していない。コミュニケーションや合意形成は言葉だけのもの。早急に自治会に連絡をとり計画について具体的に説明してほしい。市民、自治会にきちんと知らせて判断する事が合意。行政訴訟も考える。	最適ルート帯の選定以降、詳細な現地調査を実施してまいります。コミュニケーションプロセスを重視し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めているところです。引き続き大町市と連携し、住民の皆様との合意形成を図ってまいります。
38	事業の進め方について	自治会未加入者には説明会お知らせの回覧板が届かないため全戸配布してほしい。また、通知はわかりやすいように工夫してほしい。	地区別説明会の周知は自治会の回覧板を基本に行ったほか、ホームページへの掲載、有線放送や大糸タイムス等メディアに説明会の情報を提供するなど多くの方への情報提供に努めたところです。今後は、大町市とも連携し、住民説明会の周知方法を工夫してまいります。
39	事業の進め方について	新聞等を使った説明会の告知等、市民に対して親切的な情報提供の方法を考えてほしい。	大町市とも連携し、住民説明会の周知方法を工夫してまいります。
40	事業の進め方について	中高生等の若い世代にも知ってもらうために学校でも説明会を開催してほしい。計画について知らない人も多いと思うので、学校でプリント配布してほしい。	大町市とも連携し、住民説明会の周知方法を工夫してまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
41	事業の進め方について	説明会で初めて資料を見て意見を述べるのは難しい。説明会の資料は事前に提供したらどうか。	ご意見として今後の参考にさせていただきます。
42	事業の進め方について	住民との対話を丁寧にするという説明があるが、説明が半分以上で十分な対話、意見が述べられず不満が残る説明会である。	新型コロナウイルス感染防止対策で説明会の開催時間を制限しているため、ご意見等を記入していただく用紙を配布させていただきました。ご理解をお願いします。
43	事業の進め方について	大町市と連携して計画を進めるのであれば、市ももっと出てくるべき。	大町市と連携を図りながら進めてまいります。
44	事業の進め方について	説明会に参加している人達はもっと自分達の声を上げた方が良いと思う。言う先は県ではなく、大町市役所、市議、大町市議会に。	コミュニケーションプロセスを重視して、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めているところです。引き続き大町市と連携し、市民の皆様との合意形成を図ってまいります。
45	事業の進め方について	高速道路が麻績の方を通ったことでこの地域の交通網は遅れた。反対する人は必ずいる。松糸道路をやるなら早くやってほしい。	丁寧な説明と意見交換を行いながら、できる限り早期にルートが決定できるよう努めてまいります。
46	事業の進め方について	地区別説明会なのに地区から離れた会場での開催はなぜか。地区の公民館で行えばもっと地元の人に参加できたと思う。	新型コロナウイルス感染防止対策として、人との距離を確保するためにできるだけ広い会場を設定させていただきました。
47	事業の進め方について	実際にこの道路を使用するのは今の若い世代。若い人に対する説明が足りない。学校で説明しても良いのではないか。	コミュニケーションプロセスを重視して、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めているところです。引き続き大町市と連携し、市民の皆様との合意形成を図ってまいります。この道路を利用するであろう若い人の意見は非常に大切だと思います。学校での説明につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
48	事業の進め方について	若い人たちと話をしていても道路はいらないうという声が圧倒的に多いが、これについてどう考えるか。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地帯であり、高速道路へのアクセス性が低いことが企業誘致や観光誘客、重篤患者の救急搬送の上で課題となっています。大町市街地が松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展が期待できることや観光の活性化も期待されるため、必要な道路と考えています。
49	事業の進め方について	ルート選定して合意形成をとるということだが、合意形成とは具体的にどんなことか。	段階を踏んだ丁寧な説明と意見交換を行い、ご理解をいただきながらルート選定していくというプロセスが合意形成になると考えております。
50	事業の進め方について	松系道路は確実に大きな変化が生じるため、決定する前に自治会に伝えて自治会で判断できるようにしてほしい。	コミュニケーションプロセスを重視して、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めているところです。引き続き大町市と連携し、市民の皆様との合意形成を図ってまいります。
51	ルート帯の設定について	計画ルート位置が分かりにくい。住宅地図に網掛けのようにして説明してほしい。住民からしたら事前に分かるようにしてほしい。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
52	ルート帯の設定について	ルート帯についてたくさんの意見があるのに3案にこだわる理由はなぜか。こだわっていないのであれば意見のルートを追加し評価してほしい。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきたいと考えております。
53	ルート帯の設定について	南北性の幹線道路の現道活用の検討がまずされたと思うが、その検討経過がわからない。その後の経過から現道活用は断念されたと考えられるが、現道活用できなかった根拠を公開してほしい。	大町建設事務所のHPに松本系魚川連絡道路「幅の広いルート帯の選定」として経緯を公開しており、中央ルート帯において現道の国道147号、国道148号の活用について検討しております。 https://www.pref.nagano.lg.jp/omachiken/doro/matsuitoahabairo.html また、現道のオリンピック道路についても、信号交差点や沿道からのアクセスなどによるサービス速度の確保に課題があり、松系道路の目的を達成することができないと判断しています。この解決策としてバイパス案を提案しています。
54	ルート帯の設定について	マスタープランの東側ルート案が否定された経過について分かりやすく説明してほしい。東側ルート案を大町市の独自案とするのは行政の流れや連続性に沿わないものとする。マスタープランの東側ルート案の考え方を松系道路の波及的効果とひとくくりには問題です。松系道路はインフラであり、マスタープランをどう実現するかの手段であり建設そのものが目的ではない。	大町建設事務所のHPに松本系魚川連絡道路「幅の広いルート帯の選定」として経緯を公開しています。 https://www.pref.nagano.lg.jp/omachiken/doro/matsuitoahabairo.html 幅の広いルート帯の東ルート帯は、山際には土砂災害、農具川沿いでは浸水の影響が大きく、中央・西ルート帯と比較して災害に対するリスクの高いエリアであると評価し、優位性に劣ると判断しています。松系道路ができることによって、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展、観光の活性化などが期待されると考えています。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
55	ルート帯の設定について	行政の連続性が尊重されていない。マスタープラン策定経過への配慮が不足している。マスタープラン修正の必要性について市民的な合意形成がおざなりにされている。	大町市では平成26年の都市計画マスタープランにおいて、まちづくりの観点により東側ルートを想定して計画を策定しました。まちづくりの観点も踏まえた総合的な比較評価により西ルート帯に決定されましたが、幅の細いルート帯の選定におきましても、まちづくりの観点を継承するように県に働きかけるとともに、市としても独自に評価結果を検証してまいります。
56	ルート帯の設定について	3つのルート帯案の中で県が推奨するルート帯案があれば提示してほしい。	現段階では各ルート帯の優劣はありません。今後、いただいたご意見を踏まえて評価項目を設定し、総合的に評価を行い最適ルート帯を選定してまいります。
57	ルート帯の設定について	ルート帯の選定にあたっては、建設費、維持管理費の最もコストの低い案を希望。	各ルート帯を評価する評価項目として、経済性は重要な項目の一つと考えますが、その他の評価項目を含め、総合的に評価を行い最適ルート帯を選定してまいります。
58	ルート帯の設定について	道路建設により田を奪われるということは農家の生活権を奪うことになる。	最適ルート帯の選定以降、具体的な道路設計において、農地への影響を低減する工夫や、営農の継続や代替地などについて、大町市とも連携を図りながら、地権者への丁寧な対応を行ってまいります。
59	ルート帯の設定について	各ルート帯での家屋立ち退き件数はどの程度を想定しているか。想定していない場合、他の事業での事例を示してほしい。	各ルート帯の比較評価において、住宅地への影響も評価の視点として設定することも含め、今後、評価項目の検討を進めてまいります。
60	ルート帯の設定について	今後、周辺住民の意見から、起点部の変更はあり得るのか。	幅の広いルート帯を検討した際に決まった西ルート帯の中で幅の細いルート帯を3案示し、検討を行っています。3案に至った経緯も含め、今後、説明してまいります。
61	ルート帯の設定について	県営住宅、市営住宅の土地を使わず民地を通るルート案としているのはなぜか。	西ルート帯において、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、公共施設や住宅など周辺環境への影響を考慮したルート帯案を提示しています。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
62	ルート帯の設定について	起点部は1本しか検討していないのか。また、県営住宅、市営住宅の土地利用を検討したことはあるのか。	起点部は、地域高規格道路としての機能を踏まえ、市街地区間を総合的に勘案し、1ルート帯を提示しています。県営住宅、市営住宅の土地利用は検討していません。
63	ルート帯の設定について	自分の土地が道路にかかるのか教えてほしい。	最適ルート帯の選定以降、ルート(線)の検討を行い、その段階で実際の道路の位置をお示しします。住民の皆様へは、各段階において説明してまいります。
64	ルート帯の設定について	●●番地を通せば送電線もなくなり経費も安くなると思うので、ルート変更をお願いしたい。	西ルート帯において、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮したルート帯案を提示しています。
65	ルート帯の設定について	ルート帯のところには自治会で整備し、地域に親しまれている公園がある。ルートの変更してほしい。	最適ルート帯の選定以降、ルート(線)の検討を始めます。住民の皆様へは、今後とも各段階において説明してまいります。
66	ルート帯の設定について	ABCルートの見直しからもう一度行ってほしい。	西ルート帯において、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮したルート帯案を提示しています。
67	ルート帯の設定について	幅の広いルート帯の選定段階まで戻って計画をやり直してほしい。	幅の広いルート帯の検討にあたっては、地域の皆様と積み重ねてきた意見交換等のプロセスや、その結果として出されたルート帯の比較評価(結果)により、「西ルート帯」を最適ルート帯として決定しております。ガイドラインに従って、段階を踏んで進めてまいります。
68	ルート帯の設定について	起点から高瀬川沿いに北上すれば市街地への影響は一番少ないのではないかと。西と東が分断されずに橋の部分を立体的に考えればいいし、用地買収についても堤防を使うことによって用地の買収が少なくなり、いろんな意味でメリットが多いと思う。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。 3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきたいと考えております。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
69	ルート帯の設定について	高瀬川沿いに北上し、国道147号との交差はアンダーパスとしても良いのではないかと。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。 3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきたいと考えております。
70	ルート帯の設定について	地域や農地が分断されてしまうので、できるだけ高瀬川沿いを通るようにしてほしい。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。 3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきたいと考えております。
71	ルート帯の設定について	住宅地のすぐ横にルートを設定したのはなぜか。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。 各ルート帯の比較評価において、住宅地への影響も評価の視点として設定することも含め評価項目の検討を進めてまいります。
72	ルート帯の設定について	西ルートに決まってから、本来ならその中でどのようなルートにするか評価の視点から市民と共に議論して必要なルートを設定していくべきと思うが、ルートが先に示されてしまい住民がルートを検討する機会がなくなってしまった。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。 3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきたいと考えております。
73	ルート帯の設定について	起点部の所のようにルート帯が1本で決まっている所は先行して知らせしてほしい。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
74	ルート帯の設定について	地区説明会ということで来たが、この地区に関することが説明されなかった。この地区のどこに細いルート帯が通るのか。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
75	ルート帯の設定について	既に3つのルート帯が決まっているということは、何らかの評価、基準を設定して決めているはず。この段階で評価項目を決めていきたいというのは矛盾している。3つのルートを決める前にどういった評価をしていくかを決めるのが論理的な流れではないか。	まずルート帯案をお示しし、皆様の議論を深めていただいた上で評価していくと考えています。道路計画の目標、コントロールポイント等を考慮し、3つのルート帯案と評価項目案をお示しています。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
76	ルート帯の設定について	東ルートは地震等の影響が大きいということで西ルートにしたかと思うが、木崎湖トンネルでまた東に近づくことになる。ABCに固執せずに地震に対しても安全なルートの検討をして欲しい。	詳細な道路構造については、最適ルート帯の選定以降に検討してまいります。耐震性も含め安全な構造を検討してまいります。
77	ルート帯の設定について	家が道路にあたる場合、再建できるだけの補償金は出るのか。そこも並行して説明してほしい。	最適ルート帯の選定以降、ルート(線)の検討を行い、その段階で実際の道路の位置をお示しします。補償費等につきましては、ルート帯の選定以降にご説明させていただきます。
78	ルート帯の設定について	広報おおまちやHPでルート帯案の図が出ているが、図が小さくてわからない。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
79	ルート帯の設定について	大町市が東ルート帯案で都市計画を作ったことにより計画が大幅に遅れた。これは大町市の大きな反省材料であり残念。	大町市では平成26年の都市計画マスタープランにおいて、まちづくりの観点により東側ルートを想定して計画を策定しました。その後、事業主体である県が、東、中央、西の幅の広いルート帯を比較評価して西ルート帯に決定したという経緯ですのでご理解ください。
80	ルート帯の設定について	ルート帯案がABCとあるが、推奨されるルート帯はどれか。	現段階では各ルート帯の優劣はありません。今後、いただいたご意見を踏まえて評価項目を設定し、総合的に評価を行い最適ルート帯を選定してまいります。
81	ルート帯の設定について	以前から高瀬川から鹿島川の堤防を経由して二ツ屋から小熊山の裾を通って木崎湖トンネルに接続というルートを提案していたが、細いルート帯の3案以外のルートはないということになるのか。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきますと考えております。
82	ルート帯の設定について	ルートは住宅地や農地を通る形になるが、どの程度の道路までが横断できるようになるのか。生活に支障のないようにしてほしい。	交差する生活道路や農道等は、利用に支障のないようにしてまいります。詳細な構造等については、最適ルート帯の選定以降に検討してまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
83	ルート帯の設定について	圃場整備してきちんと区画された農地を松糸道路が通るが、農地が不整形になったり湾曲した土地が出ると思う。そうなると大型の機械を使用する水田としては不向きになり荒廃する土地も出ると思う。	最適ルート帯の選定以降、具体的な道路設計において、農地への影響を低減する工夫や、営農の継続や代替地などについて、大町市とも連携を図りながら、地権者への丁寧な対応を行ってまいります。
84	ルート帯の設定について	この地域は優良農地で景色もよく、静かで暮らしやすい場所。その生活圏にルートを持つてくことは絶対にやめてほしい。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。 3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきたいと考えております。
85	ルート帯の設定について	イメージ絵について、200m離れた個所からのものが多い。200m離ればそれほど影響ないかもしれないが、30m、50mといった道路に近い場所がどうなるのが問題。20～30m、50m、100mの3パターンのイメージを示してほしい。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
86	ルート帯の設定について	いつも山を見ながら農業を行っているが、その目の前に数十メートルの盛土ができてしまったらと心配である。道路近くに住む人の気持ちでイメージを教えてください。	松糸道路と交差する道路の建築限界は4.7mとなります。ボックス等でその空間を確保した高さとなりますので、盛土が数十メートルになることはありません。ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
87	ルート帯の設定について	松糸道路ができることによって農地が広い幅で潰れてしまう。	最適ルート帯の選定以降、具体的な道路設計において、農地への影響を低減する工夫や、営農の継続や代替地などについて、大町市とも連携を図りながら、地権者への丁寧な対応を行ってまいります。
88	ルート帯の設定について	資料のイメージ図ではこの地域が全然わからない。この地域のきちんとしたイメージ図を出さないと納得できない。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
89	ルート帯の設定について	この地域のルートはABCルートが重なって1本となってルートは決定しているはずなので、きちんとしたイメージ図を作ってもらわないとイメージできない。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
90	ルート帯の設定について	高瀬川の堤防を利用して道路を作ったほうが合理的ではないか。	西ルート帯の中で、地域高規格道路としての機能を踏まえつつ、周辺環境への影響を考慮した幅の細いルート帯を3案示し検討を行っています。 3案以外の検討結果につきましては、改めて説明させていただきたいと考えております。
91	ルート帯の設定について	家の近くに大きな壁(盛土)ができるなんて想像できない。毎日トラックが何台も土を運んで何年も工事することは耐えられない。	最適ルート帯の選定以降、詳細な現地調査を実施してまいります。コミュニケーションプロセスを重視し、丁寧な説明と意見交換を行いながら進めているところです。引き続き大町市と連携し、住民の皆様との合意形成を図ってまいります。
92	ルート帯の設定について	西ルート帯に決定した経緯がわからない。	大町建設事務所のHPに松本系魚川連絡道路「幅の広いルート帯の選定」として経緯を公開しています。 幅の広いルート帯の東ルート帯は、山際には土砂災害、農具川沿いでは浸水の影響が大きく、中央・西ルート帯と比較して災害に対するリスクの高いエリアであると評価し、優位性に劣ると判断しています。 松糸道路ができることによって、物流の促進や、新たな企業間の取引など地域産業の発展、観光の活性化などが期待されると考えています。 (参考: https://www.pref.nagano.lg.jp/omachiken/doro/matsuitoahabiro.html)
93	ルート帯の設定について	木崎湖手前の地域は、市内からの道路がすべて集まってボトルネックとなる。そこに盛土構造の道路ができたらどうなるのかを住民に理解してもらうことが必要。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。さらに道路がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
94	これまでの説明経緯	もっと具体的な説明をしてほしい。	現在は第2段階の複数ルート帯案と評価項目の設定について説明したところです。今後とも段階を踏んで説明を行ってまいります。
95	R3.9月以降の意見と回答について	現計画に反対という声もある。自治体からどんな声が出ているのか。生活への影響を心配する意見が載っていないのはなぜか。	生活への影響などを心配するご意見もありましたが、事業そのものに反対するご意見であったため、事業の必要性や疑問等に関する意見へ集約いたしました。
96	R3.9月以降の意見と回答について	松糸道路ができることによるデメリットも示すべき。	現在、検討中の評価項目により、各ルート帯のメリット・デメリットをお示しする予定です。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
97	R3.9月以降の意見と回答について	意見への回答を見ると答えになっていない回答も多く納得できない。意見の傾向や割合のデータを出してほしい。	様々なご意見等を頂いており、全体の集計を行うのではなく、一つひとつのご意見に対して丁寧にご説明を行ってまいります。
98	R3.9月以降の意見と回答について	多くの意見が出されているのに計画や評価項目に反映されていない。公平性、透明性に疑問。	ご意見等を踏まえ、評価項目へ反映させているところであり、今後、説明会などでお示してまいります。今後とも丁寧な説明と意見交換を行いながら進めてまいります。
99	R3.9月以降の主な意見と回答	「住民説明会及び意見募集に寄せられたご意見」について、住民意見が要約されてしまっていて住民の思いが開示されていない。意見は全文掲載してほしい。	住民説明会等で頂いたご意見につきましては公開を前提に意見募集したものではないため、個人情報保護の観点から集約・要約をした上で公開させていただいております。今後は、頂いたご意見の趣旨にできる限り沿うよう集約・要約してまいります。
100	松糸道路により期待される整備効果	SA・PAがあった方が活性化されると思う。	SA・PAの設置は予定していませんが、地域活性化につながる道の駅等につきましては、大町市と連携して検討してまいります。
101	松糸道路により期待される整備効果	市民がメリット、デメリットを天秤にかけ、松糸道路が必要かの判断ができるように道路建設によるデメリットも示してほしい。	現在、検討中の評価項目により、各ルート帯のメリット・デメリットをお示しする予定です。
102	松糸道路により期待される整備効果	松糸道路を作っても大町市は素通りされて衰退していくことが目に見える。	ルート帯の選定にあたっては、地域の活性化・市民の利便性も踏まえて比較評価してまいります。なお、大町市では将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的方向性を示す大町市都市計画マスタープランの改定を進めています。
103	景観イメージ等について	地区のすぐ横を松糸道路が通るのでそこから見える景色を提示してほしい。200mとか離れた箇所の景色を出されても納得しない。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。さらに道路がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
104	景観イメージ等について	景観イメージ図をもっとわかりやすく。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。さらに道路がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
105	景観イメージ等について	上空からの映像にCGの道路を重ねた画像を公開してほしい。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、道路を重ねたCGによるイメージをお示しすることはできませんが、ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
106	景観イメージ等について	地域がどう分断されるのか、動画等により具体的なイメージを示してほしい。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
107	景観イメージ等について	地区のどこにどんな形状の道路が通ることになり暮らしはどうなるのか。VR映像などで暮らしや道路、風景の変化を伝える技術は多くあるはず。透明性の高い進め方を望む。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、計画ルート位置をお示しすることはできませんが、現段階では示せる範囲でわかりやすいイメージの提示に努めております。また、住民の皆様のご理解を得られるように、各段階において丁寧な説明に努めてまいります。
108	景観イメージ等について	景観イメージ④の位置、方向に誤りがあるのではないか。	景観イメージ④は画像中央付近の松糸道路法尻から概ね50m離れた位置からのイメージとしてお示しています。視点方向を示した図では分かりやすくするために④位置をCルート帯から少し離して表示しています。今後、位置や方向などが詳細に分かるよう工夫してまいります。
109	景観イメージ等について	安曇野市ではかなり早い段階で航空写真やイメージ動画を使った分かりやすい資料を示している。大町市ではこの段階でもまだ示さないのはなぜか。	ルート帯の幅100mで検討している段階であり、道路を重ねたCGによるイメージをお示しすることはできませんが、ルート帯がイメージしやすい図等の公開を検討してまいります。
110	公共事業環境配慮制度について	ルート決定前から環境調査を実施してほしい。	住環境への影響、自然環境への影響を検討しており、必要な文献調査等に着手しています。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
111	公共事業環境配慮制度について	環境配慮制度の住民意見募集の回数は1回のみなのか。	環境配慮制度における意見聴取とは別に、事業を進める段階で必要に応じて住民の皆様へ説明してまいります。
112	公共事業環境配慮制度について	環境省の示す計画段階環境配慮書手続きをなぜやらないのか。	本事業は環境影響評価の実施要件に該当しないため配慮書の手続きは実施しませんが、幅の細いルート帯の比較評価において環境の保全について評価を行ってまいります。なお、最適ルート帯の選定以降は、公共事業環境配慮制度を予定しております。
113	公共事業環境配慮制度について	環境アセスメントというきちんとした評価をするべき。木崎湖以北も含め一連で環境について評価するべきではないか。わざわざ距離を短く区切って環境アセスメントを避けるようにしているのはおかしい。	本事業は環境影響評価の実施要件に該当しないため、環境アセスメントの手続きは行いませんが、最適ルート帯の選定以降は、公共事業環境配慮制度を予定しております。
114	評価項目案の設定	具体的に全体のコスト面を検討してほしい。	評価項目の「経済性」で概ねの事業費・維持管理費をお示す予定です。
115	評価項目案の設定	④環境への保全について、田舎暮らしは景観の良さを求める要素が大きい。移住定住や定住人口維持、観光の観点から景観をしっかりと調査する必要がある。	山岳風景を含め、様々な眺望を検討してまいります。
116	評価項目案の設定	評価項目検討案は東側ルート案の検討の際に検討され、主要な事項については市民的な合意形成が図られて既に終わっている事項ではないのか。	幅の広いルート帯案の比較評価結果を踏まえ、幅の細いルート帯案の評価項目を検討しています。幅の細いルート帯案についても総合的に評価することを予定しています。
117	評価項目案の設定	環境保全、景観、文化財などは市民的な議論が必要な項目と考える。数値的な評価は困難だと思うので社会的影響評価など別な評価方法を検討し、市民の合意形成を図るべき。	現在、提示した評価項目、評価の視点について市民の皆様からご意見をいただく段階です。ご意見を参考にさせていただきます。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
118	評価項目案の設定	評価の5分野を同列に評価すべきではない。質の違う項目を同列にすべきではない。評価は「大町のまちづくり」としてどう評価するかが基本となるのではないか。	総合的に優れた計画とするために、交通、環境、土地利用・市街地整備、社会・地域経済、事業性の評価分野を設定します。ルート帯の選定にあたっては、まちづくりとの連携や地域の活性化も踏まえて比較評価してまいります。
119	評価項目案の設定	評価の具体的な方法、誰が評価するのかを示してほしい。	交通、環境、土地利用・市街地整備、社会・地域経済、事業性の評価分野で、各ルート帯を様々な視点から比較評価してまいります。評価は長野県が実施しますが、比較評価を実施した段階で住民説明会を開催し、ご意見を頂く予定です。
120	評価項目案の設定	市民の意向調査やアンケートを実施し、これまでとは別の方法で評価を重ねる必要がある。	評価項目に対して多数のご意見を頂いています。ご意見を反映させた評価項目を提示する予定です。
121	木崎湖以北の現道活用区間について	木崎湖以北は現道利用ということだが、市街地区間を60～70km/hで走行した車両が現道利用の木崎湖以北を通過すると近隣住民は危険。道路も渡れなくなるし交通事故も増える。大町市内全体の計画を示してから他のルートを決めるべき。大町市内を先に進めることが理解できない。	木崎湖以北は平成20年度に決定した整備方針に基づき、現道活用を基本に考えています。当該区間の現況調査などを進めていきますが、まずはサービス速度の確保に課題のある大町市街地区間を先行して進めてまいります。
122	木崎湖以北の現道活用区間について	現道活用区間を工事する際には完全に通行止めとなるのか、横に側道等を設ける等、代替え道路を設置するのか。	木崎湖以北は平成20年度に決定した整備方針に基づき、現道活用を基本に考えています。当該区間の現況調査などを進めていきますが、まずはサービス速度の確保に課題のある大町市街地区間を先行して進めてまいります。
123	木崎湖以北の現道活用区間について	木崎湖トンネルと接続させる計画なのはなぜか。また、それ以北が現道活用なのはなぜか。	平成20年度に決定した整備方針に基づき、大町市街地区間は木崎湖トンネルを終点としています。また、木崎湖トンネル以北につきましては現道活用となっております。
124	木崎湖以北の現道活用区間について	木崎湖以北について、国道148号が1本だけでは災害が発生した際などには問題ではないか。	木崎湖以北は平成20年度に決定した整備方針に基づき、現道活用を基本に考えています。当該区間の現況調査などを進めていきますが、まずはサービス速度の確保に課題のある大町市街地区間を先行して進めてまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
125	木崎湖以北の現道活用区間について	木崎湖以北のルートも併せて検討しないと市街地ルート選択できないのではないか。	木崎湖以北は平成20年度に決定した整備方針に基づき、現道活用を基本に考えています。当該区間の現況調査などを進めていきますが、まずはサービス速度の確保に課題のある大町市街地区間を先行して進めてまいります。
126	木崎湖以北の現道活用区間について	新聞記事(2022.3.19 大糸タイムス)で、平地区の築場から青木湖までのルートについて、現道の国道148号を活用し、おおむね時速60kmの速度を確保できるような部分改良するとの記載があったが訂正ないか。	新聞記事に記載された区間には誤りがあります。正しくは、整備方針で大町市内の木崎湖トンネル以北を現道活用区間としてお示しています。
127	木崎湖以北の現道活用区間について	木崎湖以北に説明がないまま市街地区間を決めては以北で意見を言いにくくなり不平等である。公平性を保つため、市街地区間と木崎湖以北は同時検討を望む。	木崎湖以北は平成20年度に決定した整備方針に基づき、現道活用を基本に考えています。当該区間の現況調査などを進めていきますが、まずはサービス速度の確保に課題のある大町市街地区間を先行して進めてまいります。
128	木崎湖以北の現道活用区間について	木崎湖に来る観光客は静かで美しいことを求めてくる。現道が松糸道路になると素通りが増えるし景観の悪化がおきる。松糸を作るなら湖から離す必要がある。	木崎湖以北は平成20年度に決定した整備方針に基づき、現道活用を基本に考えています。当該区間の現況調査などを進めていきますが、まずはサービス速度の確保に課題のある大町市街地区間を先行して進めてまいります。
129	木崎湖以北の現道活用区間について	木崎湖以北の現道活用区間には立体交差の道路を造るスペースがない。自然や住宅が壊されて住民が住みづらくなる。	木崎湖以北につきましては現道活用を基本と考えていますが、詳細な道路構造等については、今後検討してまいります。
130	評価項目案の設定について	評価方法について、13項目すべてを網羅し、公平・平等に扱っていくべきではないか。	総合的に優れた計画とするために、交通、環境、土地利用・市街地整備、社会・地域経済、事業性の評価分野を設定します。ルート帯の選定にあたっては、まちづくりとの連携や地域の活性化も踏まえて比較評価してまいります。
131	評価項目案の設定について	コストについて、建設費用、維持管理費が一番かかるルートについて分かっている範囲で教えてほしい。	評価項目の「経済性」で概ねの事業費・維持管理費をお示する予定です。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
132	評価項目案の設定について	ルート帯案の図では大町ダムとの位置関係がわからない。	ルート帯案の図に大町ダムの方向を示す等、わかりやすい表示を検討いたします。
133	これからの予定	比較評価～完成までの目標時期を示してほしい。	最適ルート帯選定を進めているところであり、現時点で完成目標をお示しすることはできません。 最適ルート帯を選定し、ルート(線)の決定後、事業化してから詳細な調査や設計を行います。その後、用地補償等を行い工事に着手いたします。工事期間は、概ね10年程度を目標に実施する予定です。
134	これからの予定	一日も早く松糸道路が整備されることを望む。	松糸道路の整備により、広域的な輸送機能や移動手段が確保されるなど、県土や地域の均衡ある発展の実現が図られると考えています。一日も早い道路整備のためにも、地域の皆様のご理解・ご協力を得られるよう丁寧な説明を行ってまいります。
135	これからの予定	計画に沿って進めてほしい。	地域の皆様のご理解とご支援をいただき、実現に向けて取り組んでまいります。
136	これからの予定	大町以南を早期に進めてほしい。	安曇野市の安曇野北IC(仮称)～安曇橋付近までの約4km区間については「安曇野道路」として令和4年度から新規事業化され、調査設計が進められています。松川村から大町市の現道活用区間につきましては、概略設計をし、関係機関と協議・調整を進めてまいります。
137	これからの予定	早く複数案の比較評価を行い、最適ルート帯の発表をしてほしい。	丁寧な説明と意見交換を行いながら、できる限り早期にルート帯が決定できるよう努めてまいります。
138	これからの予定	ルートが決まり用地交渉等が始まるのはいつ頃になるか。今後の予定を知りたい。	実際にどの位置に道路が通るかはルート帯が決まった後に詳細な測量等をして決めていくこととなります。 ルート帯を決めないと次の段階に進めないため、現段階ではお示しできません。できる限り早期に計画をお示しできるように努めてまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
139	これからの予定	工事着工に至るまでのスケジュールを示してほしい。時間が掛かることで議論が停滞してしまうことが心配。	現段階では工事着工までのスケジュールをお示しすることはできませんが、丁寧な説明と意見交換を行いながら、できる限り早期に計画をお示しできるように努めてまいります。
140	これからの予定	ルートの決定をする時に市民は参加できるのか。	比較評価を実施した段階で住民説明会を開催し、ご意見等を頂く予定です。
141	これからの予定	家屋移転となった場合でも現在と同等の住環境となるよう誠意ある対応で不公平にならないようお願いしたい。	事業に伴う補償や用地買収につきましては、用地や補償の基準により行ってまいります。
142	その他	次の世代、子供の世代に視点を置いて考える事が必要と考える。高速道路、新幹線招致の時代を鑑み必要なものとして完成に向けて取り組んでほしい。	地域の皆様のご理解とご支援をいただき、実現に向けて取り組んでまいります。
143	その他	国、県、市の建設費用の負担割合はそれぞれどのような割合になるのか。	現時点で具体的な負担割合は決まっています。
144	その他	松糸道路ができることにより工場が建設される予定はあるのか、景観の面からも問題があるのではないのか。	現時点では情報は把握しておりません。
145	その他	市街地区間終点部の木崎湖大橋付替工事の迂回路になると思われる旧国道(市道)は道路幅員も狭くカーブが多いため道路改良を行ってほしい。	迂回路とする場合には、必要な安全対策等を行ったうえで利用してまいります。

No.	項目	ご意見、ご質問など(要旨)	対応(回答)
146	その他	木崎湖大橋の付替の際は、木崎湖観光の振興を図る観点からも周辺施設へのアクセス改善を図ってほしい。	説明会等によりご意見を頂きながら、必要な対応については大町市とも連携を図り検討してまいります。
147	その他	効果事例でこの地域に関係ないような利便性を示されても意味がない。	地域高規格道路の整備効果を理解していただくため、一つの事例として他地域の整備効果を紹介させていただきました。
148	その他	起点部分で現地を歩いてかなり具体的にルートの説明を受けたと参加者から聞いた。現地での説明は実際にあったのか。	県及び市においては、このような説明は実施しておりませんし、一切関知しておりません。
149	その他	国の事業は補償がすごく良いが、県の事業だと期待するような金額が出ないという話を聞いた。	公共補償基準を用いて補償算定を行いますので、国と県で大きく補償費が変わるということはありません。
150	その他	想定事業費に木崎湖トンネルの解体費用も入っているという話を聞いた。	木崎湖トンネルを撤去する考えはありません。